

CAP Studiesの沿革

- 1983年 設立
- 1984年 大手旅行会社の語学留学手配(~1997年)
- 1986年 一般募集の語学留学手配(~1998年)
- 1988年 アメリカ・サンディエゴに現地法人設立
- 1995年 カナダ・ブリティッシュコロンビア州教育省の日本事務局から業務を引き継ぐ
- 1997年 マギル大学MBAコースの日本窓口
- 1998年 カナダ大使館などで留学フェアの開催(~2002年)
- 1998年 語学留学、高校・大学留学のサポートに専念
- 2003年 高校・大学留学のサポートに専念

1983年5月の設立以来、CAP Studiesは時代の流れと共に変化しつつ、その時々のお客様にベストなものを提供できるよう尽力してきました。

設立当初は、大手旅行情報誌が募集する語学留学の手配全般を請け負っていました。

1986年からの約10年間は、グループホームステイと語学留学が主な業務でした。グループホームステイでは日本の学校がクラス単位や学年単位で海外研修を行う際の手配、語学留学では一般募集の生徒たちをサポートしました。それと並行してカリフォルニア大学サンディエゴ校での夏期語学プログラムを始めました。短期語学留学は当時では珍しく、このプログラムは現在の語学留学の先駆けといえます。

1988年には、アメリカのサンディエゴを拠点に現地法人を設立し、グループホームステイや語学留学を現地でもサポートしました。合計9000人の生徒を送り込んだCAP Studiesの功績が称えられ、カリフォルニア大学サンディエゴ校から表彰を受けました。

1995年、カナダ・ブリティッシュコロンビア州教育省の日本事務局が閉鎖されることになり、CAP Studiesがその後を引き継ぐことになりました。それまでは同事務所がカナダの学校のPRや留学手続きをサポートしていました。

1997年にマギル大学が日本でMBAコースを始めることになったときには、CAP Studiesは日本の受付窓口としても活躍しました。

1998年からはグループホームステイのサポートを終了し、語学留学、高校・大学留学のサポートに専念することにしました。当時高校留学はまだ一般的ではなく、高校留学を扱うエージェントは少数でした。これを機にCAP Studiesは大きく変化し、現在に至っています。

2000年になると、高校留学を終えた生徒やご両親が留学後の進路相談に来るようになりました。語学留学とは違い、高校留学のその後のサポートの必要性を痛感し、留学を控えている生徒を対象に勉強会を開くことになりました。そのかいあってか、この頃からマギル大学やトロント大学を始めとする名門大学に進学する生徒が増えました。

現在は中学・高校・大学留学のサポートを行い、多くの生徒がCAP Studiesから留学し、現地で充実した生活を送っています。

長期にわたる留学サポートにより、CAP Studiesの卒業生の層は厚く、卒業後もさまざまな分野で活躍しています。